

## 《研究ノート》

# カンボジアの選挙・政党データ（1993～2022年）

*Data on Elections and Political Parties in Cambodia (1993-2022)*

山田裕史\*

### 要旨

1991年に複数政党制を導入したカンボジアでは、国政レベルでは1993年から、地方レベルでも2000年代から各種選挙が定期的に行われるようになった。しかし、これらすべての選挙結果にアクセスするのは意外にも容易ではなく、地方選挙を含む過去30年間の選挙結果を網羅した包括的かつ正確な資料はこれまで存在しなかった。本稿は、主にカンボジアの国家選挙委員会から収集した一次資料をもとに、1993年から2022年までの選挙結果と議席獲得政党をまとめたものである。

キーワード：カンボジア、選挙、政党、カンボジア人民党、権威主義

### 目次

はじめに

表1 パリ和平協定後の選挙リスト（1993～2022年）

表2 議席獲得政党リスト（1993～2022年）

表3 制憲議会選挙および国民議会議員選挙の結果（1993～2018年）

表4 上院議員選挙の結果（2006～2018年）

表5 首都・州評議会選挙の結果（2009～2019年）

表6 市・郡・区評議会選挙の結果（2009～2019年）

表7 ポー・サエン・チェイ区評議会再選挙の結果（2011年）

表8 第1回コンボート州ボーコー市評議会選挙の結果（2021年）

表9 コミューン評議会選挙の結果（2002～2022年）

おわりに

### はじめに

本稿は、1990年代初頭の体制移行から30年間のカンボジア政治の展開を検討するための基礎資料として、1993年から2022年までの選挙結果と議席獲得政党をまとめたものである。

1991年に複数政党制を導入した同国では、国政レベルでは1993年から、地方レベルでも2000年代から各種選挙が定期的に行われるようになったが、これらすべての選挙結果にアクセスすることは意外にも容易ではない。国家選挙委員会（National Election Committee: NEC）のウェブサイト上では1990年代と2000年代の選挙結果はほぼ公開されていないほか<sup>1</sup>、先行研究やカ

\* YAMADA, Hiroshi [国際文化学科]

ンボジアの選挙に関わる NGO のウェブサイト上でも<sup>2</sup>、地方選挙を含む過去 30 年間の選挙結果を網羅した包括的かつ正確な資料は管見の限り見当たらない。

そこで本稿では、筆者がこれまで主に NEC で収集した一次資料をもとに、1993 年から 2022 年までの選挙結果と議席獲得政党を表にまとめる。表 1 に 30 年間で実施された選挙の一覧、表 2 に各選挙で議席を獲得した政党の一覧、表 3～表 9 に制憲議会および国民議会議員選挙、上院議員選挙、首都・州評議会選挙、市・郡・区評議会選挙、コミューン評議会選挙の結果を示し、それぞれ若干の解説を付す。

表 1 パリ和平協定後の選挙リスト (1993～2022 年)

投票日	選挙名	選挙の種類	選挙管理機関
1993年5月23～28日	制憲議会選挙	直接選挙	国連カンボジア暫定統治機構
1998年7月26日	第2期国民議会議員選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2002年2月3日	第1期コミューン評議会選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2003年7月27日	第3期国民議会議員選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2006年1月21日	第2期上院議員選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2006年6月～7月	村長選挙	間接選挙	コミューン評議会
2007年4月1日	第2期コミューン評議会選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2008年7月27日	第4期国民議会議員選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2009年5月17日	第1期首都・州および市・郡・区評議会選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2011年12月11日	ポー・サエン・チェイ区評議会再選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2012年1月29日	第3期上院議員選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2012年6月3日	第3期コミューン評議会選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2013年7月28日	第5期国民議会議員選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2014年5月18日	第2期首都・州および市・郡・区評議会選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2017年6月4日	第4期コミューン評議会選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2018年2月25日	第4期上院議員選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2018年7月29日	第6期国民議会議員選挙	直接選挙	国家選挙委員会
2019年5月26日	第3期首都・州および市・郡・区評議会選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2021年7月25日	第1回コンボート州ボーコー市評議会選挙	間接選挙	国家選挙委員会
2022年6月5日	第5期コミューン評議会選挙	直接選挙	国家選挙委員会

(出所) 国家選挙委員会の各種資料をもとに筆者作成。

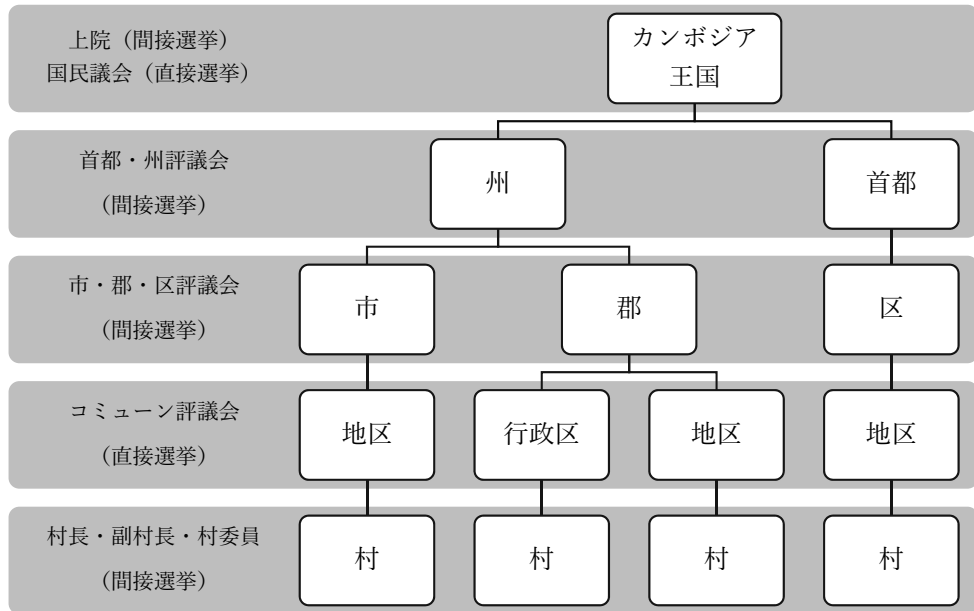
(注) 2011年のポー・サエン・チェイ区評議会再選挙は、同年5月の同区の新設にともない単独で実施された。

(注) 2021年のコンボート州ボーコー市評議会選挙は、同年3月の同市の新設にともない単独で実施された。

【表1の解説】

カンボジアでは1993年以降、各種選挙が段階的に導入され、2009年までに現在の選挙サイクルが確立した。国政レベルでは1993年から制憲議会選挙／国民議会議員選挙が5年ごとに、2006年から上院議員選挙が6年ごとに実施されている。一方、地方レベルでは2002年から行政区(ឃុំ)・地区(សង្កាត់)評議会選挙が<sup>3</sup>、2009年からは首都(រាជធានី)・州(ខេត្ត)評議会選挙と市(ក្រុង)・郡(ស្រុក)・区(ខណ្ឌ)評議会選挙が5年ごとに行われるようになった。また、憲法に規定されていないため正式な行政区分ではないが、コミューンの下に位置する村(ភូមិ)レベルでは2006年に村長選挙がコミューン評議会内で実施された。村長の任期は無期限と規定されたため、現職者の辞職や死去などの場合にのみ選挙が行われることになる<sup>4</sup>。2009年以降の地方行政区分と議会の種類は、図1に示したとおりである。

図1 地方行政区分と各種議会



(出所) カンボジア王国憲法および首都・州・市・郡・区行政管理法をもとに筆者作成。

表2 議席獲得政党リスト (1993～2022年)

政党名	結党年	議席を獲得した選挙 (実施年)			備考
		上院	国民議会	地方評議会	
カンボジア人民党 គណបក្សប្រជាជនកម្ពុជា Cambodian People's Party	1951	2006, 2012, 2018	1993, 2003, 2018	2002, 2007, 2009, 2012, 2014, 2017, 2019, 2022	インドシナ共産党の発展的解党にともないクメール人民革命党として結党。1979年に政権を掌握、1991年にマルクス・レーニン主義を放棄。
フンシンベック党 គណបក្សហ៊្វុនស៊ីនប៊ិច FUNCINPEC Party	1981	2006	1993, 2003, 2008	2002, 2007, 2009, 2012, 2014, 2017, 2019, 2022	1981年にノロドム・シハヌーク元国王が結成した王党派の抵抗組織に起源を持つ。1992年に政党として再編され、息子ランナリットが党首に就任。
仏教自由民主党 គណបក្សប្រជាធិបតេយ្យសេរីនិយមព្រះពុទ្ធសាសនា Buddhist Liberal Democratic Party	1993	—	1993	—	1979年にスーン・サーン元首相が結成した共和派の抵抗組織が分裂し、1993年に政党として再編。1998年にフンシンベック党に合流して解党。
モリナカ党 គណបក្សដុំលីណាកា និងអ្នកគាំទ្រខ្មែរដើម្បីសេរីភាព MOLINAKA and Neak Tasou Khmer Freedom Party	1992	—	1993	—	1979年に結成された親シハヌーク派の武装組織に起源を持つ。FUNCINPECから離反したプローム・ニアクリアチが1992年に旗揚げした政党。
サム・ランシー党/キャンドルライト党 គណបក្សសមរង្ស៊ី/គណបក្សភ្លើងទៀន Sam Rainsy Party / Candlelight Party	1995	2006, 2012	1993, 2003, 2008	2002, 2007, 2009, 2019, 2022	フンシンベック党を除名されたサム・ランシーが結成。2012年に主要幹部が人権党とともに救国党を旗揚げ。2017年にキャンドルライト党に改称。
クメール民主党 គណបក្សប្រជាធិបតេយ្យខ្មែរ Khmer Democratic Party	1998	—	—	2002	ウック・プーリが党首を務め、1998年から2008年まで各種選挙に参加した。議席を獲得できたのは2002年コミューン評議会選挙のみ。
ノロドム・ランナリット党 គណបក្សនរោត្តមរណឫទ្ធិ Norodom Ranariddh Party	2006	—	2008	2007, 2009, 2012	内紛でフンシンベック党を離脱したランナリットが党首に就任。同党首の政界引退と復帰にともない党名を愛国党から再びランナリット党に改称。
ホーン・ダラー民主運動党 គណបក្សហង្សដាក់ចលនាប្រជាធិបតេយ្យ Hang Dara Democratic Movement Party	2002	—	—	2007	ホーン・ダラーが結成し、2003年から2012年まで各種選挙に参加。ホーン・ダラーは2013年総選挙後に出家し、2010年にカンボジア国籍党を結党。
人権党 គណបក្សសិទ្ធិមនុស្ស Human Rights Party	2007	—	2008	2012	仏教自由民主党国民議会議員、フンシンベック党上院議員を歴任し、NGO「カンボジア人権センター」を立ち上げたクム・ソカーが結党。
民主連盟党 គណបក្សសម្ព័ន្ធដើម្បីប្រជាធិបតេយ្យ League for Democracy Party	2005	—	—	2012, 2014, 2017	元映画俳優でサム・ランシー党の国民議会議員を務めたクム・ヴィアスナーが同党除名後に結党。ヴィアスナーは近年カルト指導者としても著名。

カンボジア国籍党 គណបក្សសញ្ជាតិកម្ពុជា Cambodia Nationality Party	2010	—	—	2012	ホーン・ダラー民主運動党の創設者ホーン・ダラーが結党。2012年コミュニケーション評議会選挙以降、各種選挙に参加。人民党の衛星政党と目される。
救国党 គណបក្សសង្គ្រោះជាតិ Cambodia National Rescue Party	2012	—	2013	2017	サム・ランシー党と人権党が合流して発足した野党。2013年総選挙で躍進するも、2017年に党首が逮捕され、最高裁判所の命令により解党された。
クメール民族統一党 គណបក្សប្រជាជនកម្ពុជា Khmer National United Party	2016	—	—	2017, 2019, 2022	元軍人で上院第2副議長や副首相を歴任したフンシンベック党のニョク・ブンチャイがラナリット党首と対立し、王党派古参幹部らとともに結党。
草の根民主党 គណបក្សប្រជាធិបតេយ្យមូលដ្ឋាន Grassroots Democracy Party	2015	—	—	2017, 2022	2016年に暗殺された政治評論家カエム・ライヤNGOの活動家らが結党。2022年11月に同党首相候補らが政府ポストを提供されて人民党に移籍。
蜂の巣社会民主党 គណបក្សសង្គមដ្ឋានប្រជាធិបតេយ្យ Beehive Social Democratic Party	1997 (2015)	—	—	2017, 2022	「蜂の巣ラジオ」局を所有する独立系ジャーナリストのモーム・ソーンドーが1997年に結成。2001年に解党するも2015年に再結成した。
クメール愛国党 គណបក្សស្ត្រីរស់រវើកជាតិ Cambodia National Love Party	2020	—	—	2022	元救国党国民議会議員のチアウ・カタールが結党。2022年コミュニケーション評議会選挙で議席を得るも分裂し、カタール主要幹部は人民党へ移籍。
カンボジア青年党 គណបក្សយុវជនកម្ពុជា Cambodian Youth Party	2015	—	—	2022	ベーチ・スロホが党首を務め、2017年に救国党の解党をフンシンベック党とともに内務省に申請。人民党の衛星政党と目される。
カンボジア主義党 គណបក្សកម្ពុជាថ្មី Kampuchea Niyum Party	2021	—	—	2022	人権党と救国党で要職を務めたヤエム・ボニャレットが結党し党首に就任。2022年コミュニケーション評議会選挙後にクメール民族統一党に合流した。

(出所) 国家選挙委員会の各種資料、各政党の資料やウェブサイトなどをもとに筆者作成。

### 【表2の解説】

1993年以降、18政党が国政レベルまたは地方レベルの議会に選挙を通じて議席を獲得したが、第一院である国民議会に複数回にわたって議席を獲得したのは、カンボジア人民党、フンシンベック党、サム・ランシー党の3党のみである。1979年1月から政権を維持する人民党は、1993年制憲議会選挙で大方の予想に反して第2党となったが、1998年国民議会議員選挙以降はすべての選挙において勝利し、政治ポストの提供を通じてフンシンベック党やサム・ランシー党の幹部を相次いで取り込んできた。一方、フンシンベック党は1993年制憲議会選挙に勝利したものの、度重なる内紛によって分裂と弱体化の一途をたどり、2013年国民議会議員選挙で議席を失った。それとは対照的に、同党から分裂したサム・ランシー党は1998年選挙以降、順調に党勢を拡大し、人権党との合流によって救国党を結成して2013年選挙で躍進を果たした。しかし、救国党は米国の支援を受けて政権転覆を企てたとして2017年11月に解党処分となった。その後、人民党は2018年の上院議員選挙と国民議会議員選挙で全議席を独占し、2019年の首都・州評議会選挙と市・郡・区評議会選挙でも98%の議席を獲得するなど、覇権的な地位を維持している。

表3 制憲議会選挙および国民議会議員選挙の結果（1993～2018年）

政党名	制憲議会選挙（1993年5月）				第2期国民議会議員選挙（1998年7月）				第3期国民議会議員選挙（2003年7月）			
	投票率	得票数	議席数	議席占有率	投票率	得票数	議席数	議席占有率	投票率	得票数	議席数	議席占有率
カンボジア人民党	1,533,471	38.23	51	42.50	2,030,790	41.42	64	52.46	2,447,259	47.35	73	59.35
フンシンベック党	1,824,188	45.47	58	48.33	1,554,405	31.71	43	35.25	1,072,313	20.75	26	21.14
サム・ランシー党	-	-	-	-	699,665	14.27	15	12.30	1,130,423	21.87	24	19.51
仏教自由民主党	152,764	3.81	10	8.33	-	-	-	-	-	-	-	-
モリナカ党	55,107	1.37	1	0.83	8,395	0.17	0	0.00	6,808	0.13	0	0.00
その他	446,101	11.12	0	0.00	609,253	12.43	0	0.00	512,034	9.91	0	0.00
有効票	4,011,631	94.01	-	-	4,902,508	96.93	-	-	5,168,837	97.94	-	-
無効票	255,561	5.99	-	-	155,289	3.07	-	-	108,657	2.06	-	-
合計	4,267,192	100.00	120	100.00	5,057,797	100.00	122	100.00	5,277,494	100.00	123	100.00
政党名	第4期国民議会議員選挙（2008年7月）				第5期国民議会議員選挙（2013年7月）				第6期国民議会議員選挙（2018年7月）			
	投票率	得票数	議席数	議席占有率	投票率	得票数	議席数	議席占有率	投票率	得票数	議席数	議席占有率
カンボジア人民党	3,492,374	58.11	90	73.17	3,235,969	48.83	68	55.28	4,889,113	76.85	125	100.00
フンシンベック党	303,764	5.05	2	1.63	242,413	3.66	0	0.00	374,510	5.89	0	0.00
サム・ランシー党	1,316,714	21.91	26	21.14	-	-	-	-	-	-	-	-
人権党	397,816	6.62	3	2.44	-	-	-	-	-	-	-	-
ノロトム・ラナリット党	337,943	5.62	2	1.63	-	-	-	-	-	-	-	-
救国党	-	-	-	-	2,946,176	44.46	55	44.72	-	-	-	-
その他	161,666	2.69	0	0.00	202,601	3.06	0	0.00	1,098,618	17.27	0	0.00
有効票	6,010,277	98.35	-	-	6,627,159	98.40	-	-	6,362,241	91.45	-	-
無効票	100,551	1.65	-	-	108,085	1.60	-	-	594,659	8.55	-	-
合計	6,110,828	100.00	123	100.00	6,735,244	100.00	123	100.00	6,956,900	100.00	125	100.00

（出所）国連カンボジア暫定統治機構および国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。（注）網掛け部分は与党を示す。

## 【表3の解説】

1993年5月の制憲議会選挙は、1991年10月に締結された「カンボジア紛争の包括的な政治解決に関する協定」（パリ和平協定）に基づき、国連カンボジア暫定統治機構（United Nations Transitional Authority in Cambodia: UNTAC）の管理下で実施された。制憲議会は1993年9月の新憲法施行にともない国民議会（任期5年）へと移行したため、1998年の選挙は「第2期国民議会」議員選挙と位置づけられている。同選挙に向けて1997年12月に「国民議会議員選挙に関する法律」が制定され、1998年1月には選挙管理機関としてNECが発足した。

選挙区の区割りと議席決定方法は、制憲議会選挙と国民議会議員選挙ともに、首都・州を選挙区とする拘束名簿式比例代表制である。2022年末時点で25選挙区中、8選挙区は定数1議席で事実上の小選挙区制となっている。議席配分方式は、制憲議会選挙では最大剰余法のヘアー式が、1998年の第2期国民議会議員選挙以降は最高平均法のドント式が採用された。選挙権は18歳以上、被選挙権は25歳以上である。

表3に示したとおり、第5期国民議会は当初、人民党と救国党の2党で構成されていた。しかし2017年11月に救国党が最高裁判所から解党を命じられた後、同党の55議席は人民党と他3政党に配分された。人民党は11議席を獲得して79議席（議席占有率64.23%）となったほか、2013年国民議会議員選挙で議席を獲得できなかったフンシンベック党が41議席、クメール国籍党が2議席、クメール経済開発党が1議席を獲得した。人民党は政党法を改正して、3党合わせても得票率5%に満たない小政党に議席を付与して体制側に取り込み、形式上の複数政党からなる議会を維持したのである。

## 【表4の解説】

上院は1998年の第2期国民議会議員選挙後の人民党とフンシンベック党の権力分有の一環として、1999年3月の憲法改正によって新設された。これによりカンボジアは国民議会と上院の二院制となった。第1期上院（1999年3月～2006年3月）は、国王による任命議員2人のほか、国民議会における議席占有率に応じて各政党が議員を任命した（人民党31人、フンシンベック党21人、サム・ランシー党7人）。当初の任期は5年であったが、2004年2月と2005年2月に、それぞれ1年ずつ延長された。

第2期以降、任期は6年となり、国民議会議員とコミュン評議会議員のみ選挙権を付与する間接選挙が2006年1月に導入された。被選挙権は40歳以上である。上院議員選挙の選挙区は国民議会議員選挙とは異なり、全国を8つに区割りしている。議席決定方法は拘束名簿式比例代表制を、議席配分方式は最高平均法のドント式を採用した。上院は選挙で選出される議員に加え、国王による任命議員2人、国民議会による選出議員2人によって構成される。

表4 上院議員選挙の結果 (2006～2018年)

政党名	第2期上院議員選挙 (2006年1月21日)				第3期上院議員選挙 (2012年1月29日)				第4期上院議員選挙 (2018年2月25日)			
	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率	得票数	得票率	議席数	議席占有率
カンボジア人民党	7,854	69.19	45	78.95	8,880	78.01	46	80.70	11,202	96.05	58	100.00
フンシンベック党	2,320	20.44	10	17.54	—	—	—	—	276	2.37	0	0.00
サム・ランシー党	1,165	10.26	2	3.51	2,503	21.99	11	19.30	—	—	—	—
クメール民主党	13	0.11	0	0.00	—	—	—	—	—	—	—	—
クメール民族統一党	—	—	—	—	—	—	—	—	182	1.56	0	0.00
カンボジア青年党	—	—	—	—	—	—	—	—	3	0.02	0	0.00
有効票	11,352	99.82	—	—	11,383	99.76	—	—	11,663	99.94	—	—
無効票	20	0.18	—	—	27	0.24	—	—	7	0.06	—	—
合計	11,372	100.00	57	100.00	11,410	100.00	57	100.00	11,670	100.00	58	100.00

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。(注) 網掛け部分は与党を示す。

表5 首都・州評議会選挙の結果(2009～2019年)

政党名	第1期首都・州評議会選挙(2009年5月17日)			第2期首都・州評議会選挙(2014年5月18日)			第3期首都・州評議会選挙(2019年5月26日)		
	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	8,545	75.43	302 (24)	8,421	73.57	306 (25)	11,123	96.32	550 (25)
サム・ランシー党	2,317	20.45	61 (0)	—	—	—	—	—	—
フンシンベック党	236	2.08	6 (0)	50	0.44	1 (0)	226	1.96	3 (0)
ノロドム・ラナリット党	231	2.04	5 (0)	—	—	—	—	—	—
救国党	—	—	—	2,975	25.99	86 (0)	—	—	—
民主共和党	—	—	—	0	0.00	0 (0)	—	—	—
クメール民族統一党	—	—	—	—	—	—	175	1.52	6 (0)
カンボジア国籍党	—	—	—	—	—	—	14	0.12	0 (0)
カンボジア青年党	—	—	—	—	—	—	8	0.07	0 (0)
クメール意思党	—	—	—	—	—	—	2	0.02	0 (0)
クメール共和党	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0 (0)
有効票	11,329	99.82	—	11,446	99.91	—	11,548	99.85	—
無効票	20	0.18	—	10	0.09	—	17	0.15	—
合計	11,349	100.00	374 (24)	11,456	100.00	393 (25)	11,565	100.00	559 (25)

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。(注) 網掛け部分は与党を示す。

表6 市・郡・区評議会選挙の結果(2009～2019年)

政党名	第1期市・郡・区評議会選挙(2009年5月17日)			第2期市・郡・区評議会選挙(2014年5月18日)			第3期市・郡・区評議会選挙(2019年5月26日)		
	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	8,473	74.78	2,249 (193)	8,379	73.27	2,234 (195)	11,113	96.30	3,484 (203)
サム・ランシー党	2,332	20.58	518 (0)	—	—	—	—	—	—
フンシンベック党	262	2.31	55 (0)	92	0.80	17 (0)	213	1.85	33 (0)
ノロドム・ラナリット党	264	2.33	39 (0)	—	—	—	—	—	—
救国党	—	—	—	2,960	25.88	679 (2)	—	—	—
民主連盟党	—	—	—	5	0.04	1 (0)	—	—	—
民主共和党	—	—	—	0	0.00	0 (0)	—	—	—
クメール民族統一党	—	—	—	—	—	—	199	1.72	38 (0)
カンボジア国籍党	—	—	—	—	—	—	12	0.10	0 (0)
カンボジア青年党	—	—	—	—	—	—	3	0.03	0 (0)
クメール意思党	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0 (0)
クメール共和党	—	—	—	—	—	—	0	0.00	0 (0)
有効票	11,331	99.84	—	11,436	99.83	—	11,540	99.79	—
無効票	18	0.16	—	20	0.17	—	24	0.21	—
合計	11,349	100.00	2,861 (193)	11,456	100.00	2,931 (197)	11,564	100.00	3,555 (203)

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。(注) 網掛け部分は与党を示す。



表7 ポー・サエン・チェイ区評議会再選挙の結果 (2011年)

政党名	ポー・サエン・チェイ区評議会再選挙 (2011年12月11日)			
	投票率 100% 参加政党数 2			
	得票数	得票率	議席数 (うち議長)	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	67	75.28	15 (1)	78.95 (100.00)
サム・ランシー党	22	24.72	4 (0)	21.05 ( 0.00)
有効票	89	100.00	-	-
無効票	0	0.00	-	-
合計	89	100.00	19 (1)	100.00 (100.00)

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。 (注) 網掛け部分は与党を示す。

表8 第1回コンポート州ボーコー市評議会選挙の結果 (2021年)

政党名	第1回コンポート州ボーコー市評議会選挙 (2021年7月25日)			
	投票率 100% 参加政党数 4			
	得票数	得票率	議席数 (うち議長)	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	17	100.00	13 (1)	100.00 (100.00)
フンシンベック党	0	0.00	0 (0)	0.00 ( 0.00)
カンボジア青年党	0	0.00	0 (0)	0.00 ( 0.00)
カンボジア国籍党	0	0.00	0 (0)	0.00 ( 0.00)
有効票	17	100.00	-	-
無効票	0	0.00	-	-
合計	17	100.00	13 (1)	100.00 (100.00)

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。 (注) 網掛け部分は与党を示す。

#### 【表5～表8の解説】

首都・州評議会選挙と市・郡・区評議会選挙は、3層制の地方行政区分の第1層にあたる首都・州と、第2層にあたる市・郡・区に任期5年の評議会を設置するために、2009年5月に導入された。首都・州評議会は首都・州を、市・郡・区評議会は市・郡・区を選挙区とし、選挙権をコミュニティ評議会議員のみが付与する間接選挙である。被選挙権は25歳以上であり、議席決定方法は拘束名簿式比例代表制を、議席配分方式は最高平均法のドント式を採用している。

2011年のプノンベン都ポー・サエン・チェイ区(表7)と2021年のコンポート州ボーコー市(表8)での選挙は、任期途中の行政区画の変更にともない、評議会を新設するために実施されたものである。

第5期国民議会と同じく、第2期首都・州評議会と市・郡・区評議会でも、2017年11月の救国党解党にともない同党の議席が他政党に配分された。首都・州評議会では、救国党の86議席のうち人民党が78議席を得て384議席(議席占有率97.71%)に、フンシンベック党が8議席を獲得して9議席となった。一方、市・郡・区評議会では、救国党の679議席のうち人民党が639議席を得て2,873議席(議席占有率98.02%)に、フンシンベック党が40議席を獲得して57議席となった。

表9 コミュニオン評議会選挙の結果 (2002～2022年)

政党名	第1期コミュニティ評議会選挙 (2002年2月)			第2期コミュニティ評議会選挙 (2007年4月)			第3期コミュニティ評議会選挙 (2012年6月)		
	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	2674,303	61.16	7,703 (1,598)	3,148,533	60.82	7,993 (1,591)	3,631,082	61.80	8,292 (1,592)
フニンベック党	958,326	21.92	2,211 (10)	277,545	5.36	274 (2)	222,663	3.79	151 (1)
サム・ランシー党 / キャンドルライト党	731,150	16.72	1,346 (13)	1,303,906	25.19	2,660 (28)	1,224,460	20.84	2,155 (22)
クメール民主党	7,478	0.17	1 (0)	7,685	0.15	0 (0)	—	—	—
ノロトム・ラナリット党	—	—	—	419,791	8.11	425 (0)	—	—	—
ホーン・ダラー民主運動党	—	—	—	8,762	0.17	1 (0)	—	—	—
民主連盟党	—	—	—	1,453	0.03	0 (0)	—	—	—
人権党	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カンボジア国籍党	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	1,456	0.03	0 (0)	9,194	0.18	0 (0)	—	—	—
有効票	4,372,713	96.23	—	5,176,869	97.80	—	5,875,719	98.03	—
無効票	171,261	3.77	—	116,458	2.20	—	118,273	1.97	—
合計	4,543,974	100.00	11,261 (1,621)	5,293,327	100.00	11,353 (1,621)	5,993,992	100.00	11,459 (1,633)

政党名	第4期コミュニティ評議会選挙 (2017年6月)			第5期コミュニティ評議会選挙 (2022年6月)		
	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)	得票数	得票率	議席占有率 (うち議長)
カンボジア人民党	3,540,056	50.76	6,503 (1,156)	5,378,773	74.32	9,376 (1,648)
フニンベック党	1,32,319	1.90	28 (0)	91,798	1.27	19 (0)
サム・ランシー党 / キャンドルライト党	—	—	—	1,610,556	22.25	2,198 (4)
民主連盟党	122,882	1.76	4 (0)	—	—	—
カンボジア国籍党	2,161	0.03	0 (0)	13,140	0.18	0 (0)
救国党	3,056,824	43.83	5,007 (489)	—	—	—
クメール民族統一党	78,724	1.13	24 (1)	63,868	0.88	13 (0)
蜂の巣社会民主党	31,334	0.45	1 (0)	2,460	0.03	1 (0)
草の根民主党	4,981	0.07	5 (0)	6,807	0.09	6 (0)
クメール愛国党	—	—	—	33,259	0.46	5 (0)
カンボジア青年党	—	—	—	13,841	0.19	3 (0)
カンボジア主義党	—	—	—	4,856	0.07	1 (0)
その他	4,630	0.07	0 (0)	17,679	0.26	0 (0)
有効票	6,973,911	98.12	—	7,237,037	97.87	—
無効票	133,484	1.88	—	157,390	2.13	—
合計	7,107,395	100.00	11,572 (1,646)	7,394,427	100.00	11,622 (1,652)

(出所) 国家選挙委員会発表の選挙結果をもとに筆者作成。(注) 網掛け部分は与党を示す。

## 【表9の解説】

コミューン評議会選挙は、3層制の地方行政区分の第3層にあたる行政区・地区（コミューン）に任期5年の評議会を設置するため、1993年に成立した現体制下で初の地方選挙として2002年2月に導入された。コミューンを選挙区とし、選挙権を18歳以上に、被選挙権を25歳以上に付与する直接選挙である。議席決定方法は拘束名簿式比例代表制を、議席配分方式は最高平均法のドント式を採用している。

第4期コミューン評議会では、選挙からわずか半年後の2017年12月、救国党の解党にともない同党の5,007議席が6政党に配分された。人民党は4,551議席を得て11,054議席（議席占有率95.52%）となったほか、フンシンバック党が239議席を獲得して267議席、クメール民族統一党が201議席を得て225議席、選挙で議席を獲得できなかったカンボジア国籍党が10議席、カンボジア青年党とカンボジア少数民族民主党がそれぞれ3議席を得た。

## おわりに

こうして過去30年間の選挙結果を振り返ってみると、注目されることの少ない間接選挙（上院議員選挙、首都・州評議会選挙、市・郡・区評議会選挙）も含め、複数政党制に基づく定期的選挙という民主的政治制度が、人民党による体制維持に重要な役割を果たしていることがあらためて確認できる。同党は1990年代後半に制度構築の主導権を握った後、NECの過半数を占めるとともに、2002年のコミューン評議会選挙の導入を皮切りに、各種選挙を導入する順序と選挙の制度（直接選挙か間接選挙か）を巧妙に組み合わせて、自らの支配を強化する選挙サイクルを構築した（山田 2020）。国民議会議員選挙の重要性は論を俟たないが、間接選挙との関係に着目するとコミューン評議会選挙も極めて重要であることがわかる。つまり、コミューン評議会選挙は翌年の国民議会議員選挙の前哨戦という意味だけでなく、コミューン評議会選挙を制すれば上院、首都・州評議会、市・郡・区評議会、村長ポストを確実に支配できるという、人民党支配を支える重要な機能を担っているのである。

選挙結果にも如実に表れているように、2017年の救国党解党以降、カンボジアでは独裁が強化され、政治体制は選挙権威主義体制または競争的権威主義体制から覇権的権威主義体制へと移行した（Morgenbesser 2019; Un 2019; Loughlin and Norén-Nilsson 2021）。こうした状況のなか、選挙はこれまで以上に、人民党の権威主義的支配を正当化し、維持し、再生産する役割を担うようになってきている。

## 参考文献

## 1. クメール語文献

ក្រសួងមហាផ្ទៃ [内務省] (2006) សេចក្តីណែនាំស្តីពី បែបបទ នីតិវិធីនៃការជ្រើសរើសមេតូមី ការចូលកាន់សំណង ការផ្លាស់ប្តូរមេតូមី ការគែងកាំងជំនួយការមេតូមី និងតួនាទីភារកិច្ច របៀបបប ធ្វើការងាររបស់តូមី[村長の選出、就任、交代、助役の任命の方法・手続きならびに村行政の職務、職責、方法に関する指導].

គណៈកម្មាធិការជាតិរៀបចំការបោះឆ្នោត [国家選挙委員会] (2022) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាឃុំ សង្កាត់ អាណត្តិទី៥ ឆ្នាំ២០២២ [2022年 第5期コミューン評議会選挙の管理および運営に関する報告書].

- (2021) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតលើកទី១ ដើម្បីជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាគ្រងបូកគោ នៃខេត្តកំពត ឆ្នាំ២០២១ [2021 年第 1 回コンポート州ポコー市評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2019) របាយការណ៍ស្តីពីការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាអាណត្តិ ទី៣ ឆ្នាំ២០១៩ និងការពិនិត្យបញ្ជីឈ្មោះ និងការចុះឈ្មោះបោះឆ្នោត ឆ្នាំ២០១៩ [2019 年第 3 期評議会選挙および選挙人名簿の確認と選挙登録に関する報告書].
- (2018) របាយការណ៍ស្តីពីការបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងតំណាងរាស្ត្រ នីតិកាលទី៦ ឆ្នាំ២០១៨ [2018 年第 6 期国民議会議員選挙に関する報告書].
- (2018) របាយការណ៍ស្តីពីការបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងសមាជិកព្រឹទ្ធសភា នីតិកាលទី៤ ឆ្នាំ២០១៨ [2018 年第 4 期上院議員選挙に関する報告書].
- (2017) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាឃុំសង្កាត់ អាណត្តិទី៤ [第 4 期 コミュニオン評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2014) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សារាជធានី ខេត្ត ក្រុង ស្រុក ខណ្ឌ អាណត្តិ ទី២ ឆ្នាំ ២០១៤ [2014 年第 2 期 首都・州・市・郡・区評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2013) សន្និបាតបូកសរុបការងារបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងតំណាងរាស្ត្រ នីតិកាលទី៥ ឆ្នាំ២០១៣ [2013 年第 5 期国民議会議員選挙業務の総括会議].
- (2012) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាឃុំសង្កាត់ អាណត្តិទី៣ ឆ្នាំ២០១២ [2012 年第 3 期 コミュニオン評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2012) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងសមាជិកព្រឹទ្ធសភា នីតិកាលទី៣ ឆ្នាំ២០១២ [2012 年第 3 期 上院議員選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2011) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតឡើងវិញជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាខណ្ឌពោធិ៍សែនជ័យ ឆ្នាំ២០១១ [2011 年 ポー・サエン・チェイ 区評議会再選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2009) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាអាណត្តិ ទី១ ឆ្នាំ ២០០៩ [2009 年第 1 期評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2008) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងតំណាងរាស្ត្រ នីតិកាលទី៤ ឆ្នាំ២០០៨ [2008 年第 4 期国民議会議員選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2007) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាឃុំសង្កាត់ អាណត្តិទី២ [第 2 期 コミュニオン評議会選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2006) របាយការណ៍ស្តីពីសកម្មភាព និង លទ្ធផលការងារ របស់គណៈកម្មាធិការជាតិរៀបចំការបោះឆ្នោត ឆ្នាំ២០០៥ [2005 年 国家選挙委員会の活動および業績に関する報告書].
- (2003) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសតាំងតំណាងរាស្ត្រ នីតិកាលទី៣ [第 3 期国民議会議員選挙の管理および運営に関する報告書].
- (2002) របាយការណ៍ស្តីពីការគ្រប់គ្រង និងការប្រព្រឹត្តទៅនៃការបោះឆ្នោតជ្រើសរើសក្រុមប្រឹក្សាឃុំ



---

<sup>1</sup> 1990年代と2000年代に実施された選挙のうち、NECのウェブサイト上で選挙結果が公開されているのは2008年国民議会議員選挙のみである。<https://www.nec.gov.kh/khmer/content/2403> (2022年12月1日閲覧)。

<sup>2</sup> たとえば、Nohlen, Grotz and Hartmann eds.(2001)やCroissant(2016)、Committee for Free and Fair Elections in Cambodia(COMFREL; <https://comfrel.org/category/election-reports/>)やInternational Foundation for Electoral Systems(IFES; <https://www.electionguide.org/countries/id/37/>)のウェブサイトを参照。

<sup>3</sup> 本稿では行政区と地区を総称してコミューン(Commune)と表記する。

<sup>4</sup> 村長は副村長と村委員の候補者をコミューン長に提案し、コミューン評議会の承認を得る。